

第1章 里山林に入ってみよう

1 里山林

神奈川県民有林の森林面積は84,479haありますがこのうち48,140haが広葉樹林になります。神奈川県には300種類以上の野生の樹木が知られていますが、この90%以上が広葉樹です。

その広葉樹林は切り株から再び萌芽する形式の雑木林と、畑地の管理放棄にともなう実生育成型の森林とがあります。このほか886haの竹林もあります。これらの森林植生をここでは里山林とよびます。その大半は定期的な管理や利用が行われなくなっているため、さまざまな現象がみられます。

(1) 畑の跡が雑木林になっている

20~30年前から農地が放棄され、各地で農地の跡が森林化されてきています。斜面林の中に階段状の地形がみられるのは畑として利用されていた証拠です。

(2) 竹林が増える

もともと農家の自家消費用に小規模に植えつけられてはいましたが、竹利用も利用されなくなったため管理が放棄されました。モウソウチクやマダケは繁殖力が強く、もとの場所から四方に広がっています。



土手に大きな落葉広葉樹が生えています。
かつては日陰になるので生やしませんでした。



定期的な管理が行なわれている雑木林



畑の跡地に成立したミズキを中心にした森林



畑と雑木林が混在する里山